

### 公平性を確保するため 市税の滞納処分を推進します

●延滞金や公売について詳しくは  
市役所収納課収納整理係(☎・内線1253)

市税は貴重な財源として健康な暮らしをするために、重要な役割を担っています。また、福祉や教育、道路整備など、さまざまな事業を進める上で、非常に大切な財源です。

多くの皆さんからは、期限までに市税を納めていただいています。しかし、期限を過ぎても納税の義務を果たさない人たちがいます。このように期限までに税金を納めないことを「滞納」といいます。

**著しく公平性を欠く「滞納」が財政を圧迫**

市税を滞納する事は、期限内に納税している多くの市民の皆さんとの公平性を著しく欠く事になります。また、市の財政を圧迫し、住民サービスに支障を来します。

このため、市では、滞納処分を推進しています(右下の表参照)。

また、市税だけでなく、国税、県税でも、納付のお知らせが届いて、納めないまま期限を過ぎ

**市税は貴重な財源で納期内の納付が基本**

市税は、市民が安心して健康な暮らしをするために、重要な役割を担っています。また、福祉や教育、道路整備など、さまざまな事業を進める上で、非常に大切な財源です。

多くの皆さんからは、期限までに市税を納めていただいています。しかし、期限を過ぎても納税の義務を果たさない人たちがいます。このように期限までに税金を納めないことを「滞納」といいます。



悪質な滞納者に対しては、市が財産などを差し押さえます

ると、年14・6割の延滞金が発生します。

**悪質と認める場合は強制的に差し押さえ**

さらに、滞納が悪質と認められる場合、滞納者の住居などを強制的に捜索して、財産を差し押さえることがあります。

市には、裁判所の許可なしに差し押さえる強い権限があり、滞納者本人が不在でも行うことができます。

**差し押さえた財産は公売を実施して充当**

公売とは、滞納者から差し押さえた財産を売却

することです。売却代金は、滞納している税金に充当します。

市では、平成19年度からインターネット公売も実施しています。23年度の公売は、動産2件、不動産12件を実施し、これにより、約165万円が市税に充当されました。

**納付が困難な場合は相談に応じています**

病気や失業、生活が苦しいなど、やむを得ない事情により期限内に納められない場合は、完納に向けて、納付計画のご相談をしてください。

### 市税の納付は便利な口座振替で!

市税の納付には、安心・便利・確実な口座振替をお勧めしています。口座振替を利用すれば、指定した預貯金口座から各納期の末日に振替納付することができ、納め忘れの心配がありません。

#### ◆申し込み方法

利用する金融機関・ゆうちょ銀行(郵便局)の窓口へ納入通知書・預貯金通帳・通帳印を持参し、申し込みください。

※ 市内の金融機関には口座振替依頼書を用意しています。市外の金融機関をご利用の場合は、収納課へお問い合わせください。

### 滞納処分までの流れ

もし、納め忘れていた場合、以下の手続きがとられます。

- 1 督促状送付…納期限までに完納しない場合、期限後20日以内に発送
- 2 滞納処分…督促状の発行日から10日経過しても完納しない場合は、財産の差し押さえなどを行い、強制的に徴収できます。

※ 滞納処分の対象となる主な財産…給与・賞与、預貯金、売掛金、生命保険、農業者戸別所得補償交付金、不動産、動産(貴金属・自動車・テレビ・美術品など)

### 市立図書館が文部科学大臣表彰を授与される

子どもの読書を推進する活動が認められ、市立図書館(工藤昭二館長)が、文部科学大臣表彰を授与されました。

授与式は、4月23日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、工藤館長が出席。今回、全国で表彰を受けた図書館は47館。県内では、

本市の図書館のみが表彰されました。

市立図書館では、毎月「新刊(子ども)の本を読む会」や「お話し会」を開催しているほか、「三歳児図書館ふれあい事業」を展開中です。お子さまが素敵な本に出会うためにも、図書館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



表彰状を手にする工藤昭二市立図書館長(中央)と職員

### 浅沢少年消防クラブが火災予防活動全国表彰

市の浅沢少年消防クラブ(小山田かりん隊長、隊員13人)が全国少年消防クラブ運営指導協議会から表彰を受けました。

浅沢地域の児童で構成する同消防クラブは、昭和56年に結成。消防演習への参加や夜回りでの火災予防活動を行っており、今回、全国約5

千クラブの中から、優秀な少年消防クラブとして表彰を受けました。

3月28日には、クラブ団員、関係者約20人が、安代総合支所を訪れ、小山田隊長(安代小5年)は「これからも活動を頑張っていきたい」と喜びを語りました。

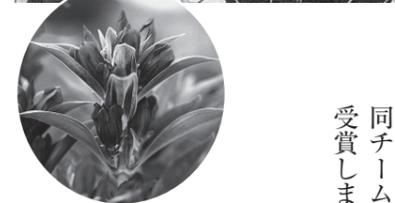


市長に受賞を報告する浅沢少年消防クラブ団員と関係者

### 「安代りんどう」が育種学会賞世界ブランドへの期待高まる

市花き研究開発センターと生産者で組織する一般社団法人安代りんどう開発の合同育種チームが、日本育種学会の2011(平成23)年度学会賞に選ばれました。受賞テーマは、「高品質『安代りんどう』ブランド品種の育成と海外展開」です。

同センターは旧安代町が設立。水田転作をきっかけとして栽培が始まったりんどうについて、独自の品種開発を進めました。初の登録となった青紫色品種「安代の秋」から11品種を育成し、平成18年には、全国生産量の約30割を占めるまでとなり、「安代りんどう」のブランドを確立しました。



上) 日影孝志市花き研究開発センター所長(左)と北口輝男安代りんどう開発事務局長  
下) 市の花でもあるりんどうは青紫色の鐘型の花を咲かせます

国内の需要拡大だけでなく、平成4年にはニュージランド、14年にはチリで試験栽培を開始。ヨーロッパへの輸出も始まり、世界ブランドとしての期待が高まっています。また、農業活性化の先駆けとして、国内外からの注目度も高くなっています。

合同育種チーム代表の日影孝志市花き研究開発センター所長は、「生産者と一体で取り組んできたりんどうの産地化への努力が認められた。今後も世界との交流を広げ、新たなビジネスチャンスにつなげていきたい」と抱負を語りました。

同学会は、全国の育種研究者ら2千人で組織され、23年度は同チームを含め2件が学会賞を受賞しました。